

<会場 60名+オンライン開催(ウェビナー)>ハイブリッド開催



シンポジウム開催のご案内

SYMPOSIUM INFORMATION

1/26 (木)

13:30~16:00(13:00 開場)

ほくとう総研創立 30 周年記念事業 拡大地域経営研究会

With/Post コロナ時代のスタートアップエコシステム創出 ～ リアル拠点とバーチャル拠点の共進化 ～

北海道東北地域経済総合研究所(略称:ほくとう総研)は、2022年4月に創立30周年を迎えました。これを記念して、新潟大学との共催で、With/Post コロナ時代におけるスタートアップエコシステムを創出するため、新潟のエピセンター(震源地)の現状と今後のあり方について、戦略・デザイン・課題などを中心に討議するシンポジウムを開催します。

PROGRAM

1. ご挨拶(ほくとう総研 理事長 伊藤 敬幹)

「地域経営」の目標は、エネルギーを含む地域資源を活用し地域の外から稼ぐ力を高めるとともに、地域内での経済循環を高め地域に富を蓄積することであり、それをいかに実践するかが地域の活性化にとって重要です。「ほくとう総研」は1992年の設立以来、北海道・東北地域の自立的かつ持続的発展のための「地域づくり」に寄与してまいりました。今後も新しいサステナブルな社会共創へ向けて皆様とともに歩みます。

<略 歴>1980年 北海道東北開発公庫入庫。2005年 株式会社日本政策投資銀行 事業再生部長、企業ファイナンス部長、情報通信部長、東北支店長などを経て、2010年 仙台市副市長、2018年 ほくとう総研理事長(現職)



2. 基調講演(新潟大学 経済科学部 大学院 現代社会文化研究科 伊藤龍史 准教授)

演題 「新潟をスタートアップの聖地(メッカ)に

～新潟大学伊藤研究室における「連携」をつじたアントレプレナーシップ育成への取り組み～」

<講 師>新潟大学 経済科学部 大学院 現代社会文化研究科 伊藤龍史 准教授

<略 歴>早稲田大学卒業後、早稲田大学大学院商学研究科修士課程・博士後期課程、早稲田大学産業経営研究所助手を経て2009年新潟大学着任、サンノゼ州立大学ビジネススクール客員研究員(シリコンバレー)、ソウル科学技術大学招聘副教授などを歴任。県内のアントレプレナーシップ関連活動に積極的に協力し、学生起業家を複数輩出している。



3. パネルディスカッション

With/Post コロナ時代におけるスタートアップエコシステムを創出するため、新潟のエピセンター(震源地)の現状と今後のあり方について、リアル拠点とバーチャル拠点を融合させた起業支援の仕組みや仕掛け、戦略・デザイン・課題などを中心に討議します。

<コーディネーター>新潟大学 経済科学部 大学院 現代社会文化研究科 伊藤龍史 准教授

<パネリスト> 株式会社ラクウェブ 代表取締役COO 大塩 優多 氏

<略 歴> 筑波大学卒業後、新潟大学へ(在学中)

2020年、現(株)ラクウェブを創業後、様々なウェブの開発を行ってきた。
また、新潟大学内に「学生と企業のサードプレイス」を目指したコワーキングスペース NOT THE UNIVERSITY を運営している。



<パネリスト> 株式会社スナップ新潟 代表取締役社長 逸見 覚 氏

<略 歴> 東京理科大学卒業後、(株)けんと放送入社、現在代表取締役社長。

2019年(株)スナップ新潟を起業し、新潟県内スタートアップ支援中核拠点の代表として、オンラインサロン「SN@P サロン」を運営。
新潟から世界へ羽ばたくような成長性の高い起業家育成を目指す。



| 会 場 | 定 員 | 参加費 | |
|----------------------------|--------------------|-----|--|
| ANA クラウンプラザホテル新潟 3階「飛翔」 | 会場 60名 +オンライン開催 | 無 料 | 主催：(一財)北海道東北地域経済総合研究所(ほくとう総研) 共催：新潟大学 協力：(株)日本政策投資銀行 後援：新潟県 (公財)いがた産業創造機構 新潟日报社 (一社)新潟県商工会議所連合会 (一社)東北経済連合会 (公財)東北活性化研究センター (順不同) |

